

大槌発 漁業者育成体験講座

定置網を体験

漁業の新たな担い手を育成しようと始まった大槌町の「漁業体験講座」。参加者は沿岸漁業の柱とも言える、『定置網漁』を体験しました。



大槌町出身の三浦健一さんら3人の参加者は、支援で建造された「瀬谷丸」に乗り込み大槌湾内の定置網漁場で、地元漁師に交じって実際に「網おこし」を体験しました。参加者の一人、愛知県出身の奈良寿昭さんは、「最初は寒かったが作業をしていたら汗だくになり、楽しいです」と話していました。



(1/15 ニュースエコー)

宮古発

早採りわかめ出荷始まる

宮古市重茂地区では春の収穫期前のワカメを新芽の状態で刈り取った特産の早採りわかめ「春いちばん」の出荷が始まりました。「春いちばん」は、茎ごと食べられる新鮮な食感が人気を集めています。また出荷式では「春いちばん」の販路拡大を支援するキリングループから専用のカタログやホームページの作成費用にあてられる支援金2500万円の目録が贈られました。重茂漁協では今シーズンは震災前と同水準の30トンの出荷を目指しています。(1/18 ニュース)



「春いちばん」は、茎ごと食べられる新鮮な食感が人気を集めています。また出荷式では「春いちばん」の販路拡大を支援するキリングループから専用のカタログやホームページの作成費用にあてられる支援金2500万円の目録が贈られました。重茂漁協では今シーズンは震災前と同水準の30トンの出荷を目指しています。(1/18 ニュース)

釜石発

大寒みそぎ

釜石市では海に入って身を清める「大寒みそぎ」が行われました。「大寒みそぎ」は大槌稲荷の年中行事で元々は大槌町の浪板海岸が舞台でしたが、震災以降は釜石市の根浜海岸で行われています。集まった男衆は20人、船を漕ぐ動きで体を温める「鳥船」の儀式を終えると下帯姿で海へ。身を刺す冷たさに耐えながら海の神の名前を唱え心身を清め、地域の復興を目指す決意を新たにしました。(1/19 ニュース)



田野畑発

トンネル内タイル貼り



田野畑小学校6年の42人が開通を控えた三陸沿岸道路・尾肝要道路のトンネル内の壁にタイル貼りをしました。完成間近のトンネル内

で現場の作業員の手ほどきを受けながら村と学校の印が印刷されたタイルを丁寧に壁に貼り付けました。トンネル内のタイルは照明を反射してドライバーの視界を良くし、トンネルの行く手が分かりやすくなる効果があります。三陸沿岸道・尾肝要道路は今年3月に開通予定です。(1/20 ニュースエコー)

釜石発

三鉄応援動画

人気アイドルグループ、AKB48のヒット曲に乗せて沿線に暮らす子どもから大人までが踊りを披露している「恋するフォーチュンクッキー三陸鉄道南リアス線Ver.」が、インターネットの動画サイトYouTubeで注目を集めています。年末の公開からひと月足らずで再生回数は23万回を超えました。参加した住民は900人以上。撮影と編集は、県の職員が中心となって行われました。(1/21 ニュースエコー) (動画はYouTubeをご覧ください)

宮古発 (ワイドステーション内毎週水曜日放送)

さんりく元気ラジオ

今週はみやこハーバーラジオの鈴木清恵さんが、今月19日に行われた伝統行事「裸参り」について伝えてくれました。これは、宮古市消防団第三分団に受け継がれているもので、



「防災や商売繁盛、震災復興などの願い」が込められています。当日、宮古はかなり冷え込みましたが、裸にふんどし一丁で腰から御幣束のついたしめ縄をまいた消防団員や有志の男衆が、市内を巡りました。参加した人たちは、「どんな時でも平常心を忘れず、焦らず任務に当たりたい」と気を引き締めていました。(1/22)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122